

学校トイレに 生理用品配置

生理用品配置



札幌市教育委員会は、3月24日、市議会予算特別委員会で、今年度から市内小・中・高校のトイレに生理用品を配置する考えを明らかにしました。日本共産党市議団や新日本婦人の会などが配置を要望してきたものです。これまで、突然の生理や経済的事情による問題などで生理用品を入手できない児童生徒もいて、子どもの健康や学習権にも影響があることから、配置を求めてきました。

札幌北中学校の 増築棟が決定

増築棟が決定



太田市議は、札幌地域の方から「中学校に特別支援学級がない。子どもが入学するまでに作ってほしい」との要望を受けて以来、繰り返し大規模校の改善について質問をしてきました。

昨年10月の決算特別委員会では「札幌市の学校規模適正化の基本方針には、大規模校は明記されていない」と質問し、市からの「大規模校を含めた全ての学校が適正規模になることが望ましいと考える」との答弁を引き出していました。札幌北中に特別支援学級にも使用可能な普通教室が6教室分、トイレの増設等が実現します。

共用開始は、令和10年4月の予定です。

「民間学童保育所があって良かった」

4/16 に東区の学童保育指導員・保護者の方々と、太田市議の懇談会があり、オンライン参加も含め、みなさんから要望が寄せられました。

指導員から「子どもが学童保育に通いたくても、保護者にとって大きなハードルはお金がかかること。無料の公設放課後児童クラブとの保育料の格差を少しでも少なくするため、市の支援を求めたい」。保護者からは「働きながらの子育ての様々な不安が解消される。民間学童保育があって良かった。」「子育てをする多くの人に、もっと知ってもらうようにアピールしたい」などのお話がありました。「要望を整理して市に届けます。一緒に改善を求めて行きましょう」と太田市議は答えました。



市政報告・こんだん会(4/5)、59名が参加！

太田市議から2025年度予算の問題点として、受益者負担を進め、市民合意のない大型開発優先の予算になったと報告。

これまで無料だった火葬料を1万6千円に有料化、敬老パスに続き、障害者就労支援事業の廃止が検討されていることなど、札幌市の独自事業の廃止・縮小が進んでいく懸念があると語りました。

参加者の皆さんからは、「モエレ沼公園の整備状況」「札幌市電」「丘珠空港の騒音問題」「敬老パス制度の今後」「地域のバス路線の廃止問題」などの質問が出され、太田市議は、それらの質問に丁寧に答えました。

